

H	プロダクトデザイン実習2								年度	2025
英語科目名	Product Design Course 2								学期	2
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 2年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習	
担当教員	熊谷 有太郎			教員の実務経験	有	実務経験の職種		プロダクトデザイナー		
【科目の目的】 デザインコンペティションへの参加を通して、デザイナーとしての実践力を養い「考察力」「課題解決力」「提案力」を身につけることを目的とする。本科目は二つの課題を設定し、共通項（金属を主材とする事）を設けることで、金属素材とその加工技術について、より深くより広く習得する。本実習を通してデザイン思考と知見を習得し、他分野への応用力を培うことを最終目的とする。 課題①：コンペ主催者の要求を理解し、考察と検証を繰り返すことで、より実践的デザイン思考を学ぶ。 課題②：制約を基にクリスマスツリーのデザインを行う。また機能（組み立てやすさ・ポータビリティ・コスト）等、より実践的なものづくりを学ぶ。										
【科目の概要】 本科目は、二つの課題を設ける。課題①は、デザインコンペティションへのエントリーを目的に、より実践的にものづくりへの理解力を高める。課題②は平面材を用い立体構成を行う「クリスマスツリー」のデザインを行う。										
【到達目標】 目標A 素材と加工技術について理解する。 目標B 調査考察が具体的なデザインとして提案されている 目標C モックアップやプレゼンテーションシートを通して実現性の高い提案ができる。										
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	素材と加工技術について理解する。			素材と加工技術について認識する。			素材と加工技術について認識できない。			
到達目標 B	調査考察が具体的なデザインとして提案され優れている。			調査考察が具体的なデザインとして提案されている。			調査考察が具体的なデザインとして提案されていない。			
到達目標 C	モックアップやプレゼンテーションシートを通して実現性の高い優れた提案ができる。			モックアップやプレゼンテーションシートを通して実現性の高い提案ができる。			モックアップやプレゼンテーションシートを通して実現性の高い提案ができない。			

【教科書】

特定の教科書はない。適時、授業に必要な資料配布を行う。

【参考資料】

参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。

【成績の評価方法・評価基準】

プレゼン:40% | 制作物の発表方法、内容について評価する
課題完成度:40% | 提出課題完成度を総合的に評価する
プロセス:10% | 制作過程を評価する
平常点:10% | 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		プロダクトデザイン実習2				年度	2025
英語表記		Product Design Course 2				学期	2
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	【課題①】 課題説明・事例紹介。	課題の理解	1	課題説明	課題内容を理解している	1	
			2	市場調査	提案商品デザインの調査されている		
			3	コンセプト立案	提案商品デザインのコンセプト立案がされている		
2	【課題①】 アイディア展開 (ラフスケッチ・モックアップ制作)	実習指導	1	進捗確認	目的を理解しコンセプト立案ができている	1	
			2	ラフスケッチ	素材、加工を理解し、ラフ製作ができている		
3	【課題①】 アイディア展開 (ラフスケッチ・モックアップ制作・中間発表用資料作成)	デザイン検証	1	進捗確認	目的を理解しコンセプト立案ができている	1	
			2	市場調査	デザインを検証・修正することができている		
			3	発表資料作成	中間発表用の資料をまとめる事ができる		
4	【課題①】 中間発表	進捗確認と	1	中間発表	ここまでの成果を資料にまとめ、発表ができている	1	
		修正点の抽出	2	修正点把握	修正するべき点を理解しブラッシュアップができる		
5	【課題①】 ・提出資料作成	ブラッシュアップ	1	進捗確認	目的を理解しコンセプトのブラッシュアップができている	1	
			2	3D・プレゼンテーションシート	デザインを検証・修正することができている		
6	【課題①】 3Dデータ作成・モックアップ制作	ブラッシュアップ	1	進捗確認	目的を理解しコンセプトのブラッシュアップができている	1	
			2	3D・プレゼンテーションシート	デザインを検証・修正することができている		
			3	発表資料作成	最終発表用の資料をまとめる事ができる		
7	【課題①】 (3Dデータ作成・モックアップ制作・提出資料作成)	成果確認と最終修正点の抽出	1	プレゼンテーション	プレゼンテーションができている	1	
			2	評価・講評	修正点を理解しブラッシュアップすることができる		
8	【課題②】 課題説明・事例紹介。	課題の理解	1	最終確認	プレゼンテーション後にブラッシュアップができている	1	
			2	成果物提出	各種成果物を提出することができている		
9	【課題①最終】 3Dデータ作成・モックアップ制作	成果発表・提出	1	課題説明	課題内容を理解している	1	
			2	市場調査	提案商品デザインの調査されている		
			3	コンセプト立案	提案商品デザインのコンセプト立案がされている		
10	【課題②】 アイディア展開 (ラフスケッチ・モックアップ制作)	実習指導	1	進捗確認	目的を理解しコンセプト立案ができている	1	
			2	ラフスケッチ・モックアップ	素材、加工を理解し、ラフ製作ができている		
	【課題②】 ラフスケッチ・モックアップ		1	進捗確認	目的を理解しコンセプト立案ができている		

11	ノイアイノ展開 (ラフスケッチ ・モックアップ制作)	デザイン検証	2	3D・プレゼンテーションシート	デザインを検証・修正することができる	1	
			3	発表資料作成	中間発表用の資料をまとめる事ができる		
12	【課題②】 中間発表	進捗確認と修正点の抽出	1	中間発表	ここまでの成果を資料にまとめ、発表ができる	1	
			2	修正点把握	修正するべき点を理解しブラッシュアップができる		
13	【課題②】 (3Dデータ作成 ・モックアップ制作 ・提出資料作成)	ブラッシュアップ	1	進捗確認	目的を理解しコンセプトのブラッシュアップができる	1	
			2	3D・プレゼンテーションシート	デザインを検証・修正することができる		
14	【課題②】 (3Dデータ作成 ・モックアップ制作 ・提出資料作成)	ブラッシュアップ	1	進捗確認	目的を理解しコンセプトのブラッシュアップができる	1	
			2	プレゼンテーションシート	デザインを検証・修正することができる		
			3	発表資料作成	最終発表用の資料をまとめる事ができる		
15	【課題②】 最終プレゼンテーション	成果発表・提出	1	最終確認	プレゼンテーション後にブラッシュアップができる	1	
			2	成果物提出	各種成果物を提出することができる		
評価方法：1. 課題、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							